

水のこと、知ってる？

～ 身の回りの水、調査隊 ～

小学4年生対象

目標

大和川の水質変遷に関する資料をきっかけとして、地域の水資源や生活排水の汚れに興味・関心をもち、進んで水質調査を調べようという態度を育てる。また、水質調査にはさまざまな手法があることを理解し、友だちと協力して身の回りの水に関する水質調査や活動を行うことができるようにする。さらに、実験や計測の結果を正確に記録したり、それらの結果を用いて自分の意見をレポートにわかりやすくまとめたりする資質や能力を育む。

プログラム概要

- ① 大和川の水質変遷に関する資料を読み、地域の水資源や生活排水の汚れについて話し合う。
- ② 身の回りにある水の水質調査をする。(調査活動Ⅰ)
- ③ ゲストティーチャーの話聞き、水環境を守る活動や、大和川の水質改善に関する活動について知る。
- ④ さらに追究したい課題を設定し、グループで実験・計測を行う。(調査活動Ⅱ)
- ⑤ 調べたことをレポートにまとめ、交流する。ふりかえりをする。

授業時間数

15時間

外部講師 教育資源の活用

国土交通省近畿地方整備局 大和川河川事務所

主な教科等 関連教科等

主となる教科等:総合的な学習の時間
関連教科等:社会科、理科、国語科

他の分野への応用

水資源だけでなく、物質(食糧)・エネルギーを対象にしても同様のアプローチは可能

「子ども堺学」 ポータルサイトの活用

[トップ](#) → [教員ページ](#)

<http://sd.sakai.ed.jp/>

学習の流れ

① 調べようⅠ ～身の回りの水質調べ～

- 大和川の水質変遷に関する資料を読み取り、気づいたことを話し合う。
- 水質調査にはいくつかの方法があることを知り、その手法を学ぶ。
- 身の回りの水質調査を通して、水質調査の方法を身につける。
(例)学校の近くの川の水、ビオトープの水
プールの水、運動場の水たまりの水、手洗い場の水、しょうゆを数滴たらした水等

② ゲストティーチャーの話を聞こう

- 水環境を守る活動や大和川の水質改善に関する取組を行っている地域の方や団体を外部講師として招聘し、その活動について話を聞く。

③ 調べようⅡ ～もっと調べたい、水のこと～

- これまでの学習をふりかえり、さらに追究したい課題を決める。
(例)もっといろいろな水の水質調査をしたい、汚れた水をきれいにする方法を調べたい等
- グループで課題解決のための方法を話し合う。
- 実験・調査活動を行う。
- 計測や実験の結果を記録し、分かったことや気づいたことを話し合う。

④ レポートにまとめよう・ふりかえろう

- 記録した結果をもとに、自分の調査活動に関するレポートを書く。
- 書いたレポートをお互いに読み合い、交流する。
- これまでの学習をふりかえり、分かったことや自分ができるようになったことについて話し合う。